

# 文京区水害ハザードマップ

## 水害ハザードマップについて

この地図は、東京都が作成した浸水予想区域図を基に、河川の氾濫及び下水道の溢水により、浸水が想定される区域及び浸水深を示すとともに、各地域の避難所を明示し、区民の皆さんの避難などに役立てるために作成したものです。

浸水被害が予想される区域及びその程度は、想定しうる最大規模の降雨(24時間総雨量690mm・時間最大雨量153mm)を基にシミュレーションを行っていますが、雨の降り方、土地の形態の変化、河川・下水道の整備状況等により変わることもあります。したがって、大雨が降ると、常にこの地図のような浸水被害が発生するものではありませんのでご注意ください。

また、大雨の際には、区から避難指示等の避難情報が発令される場合がありますので、各種気象情報や避難情報には十分ご注意ください。

いざというときに備えて、ご自宅から避難所までの避難経路、マンホールや側溝などの危険な箇所は、あらかじめご確認いただけますようお願いいたします。

## 凡例

- 水害時の避難所
- 避難所入口
- 垂直避難場所
- 区役所・地域活動センター
- 消防署・消防署出張所
- 警察署・交番
- 雨量計
- 水位計
- 河川ライブカメラ
- 区界
- 町丁目界
- 神田川の外水氾濫区域  
(標高:6.8m) 標高値

浸水した場合に想定される水深(ラック区分)

5.0~10.0m
3.0~5.0m
2.0~3.0m
1.0~2.0m
0.5~1.0m
0.1~0.5m

**「神田川の外水氾濫区域」について**

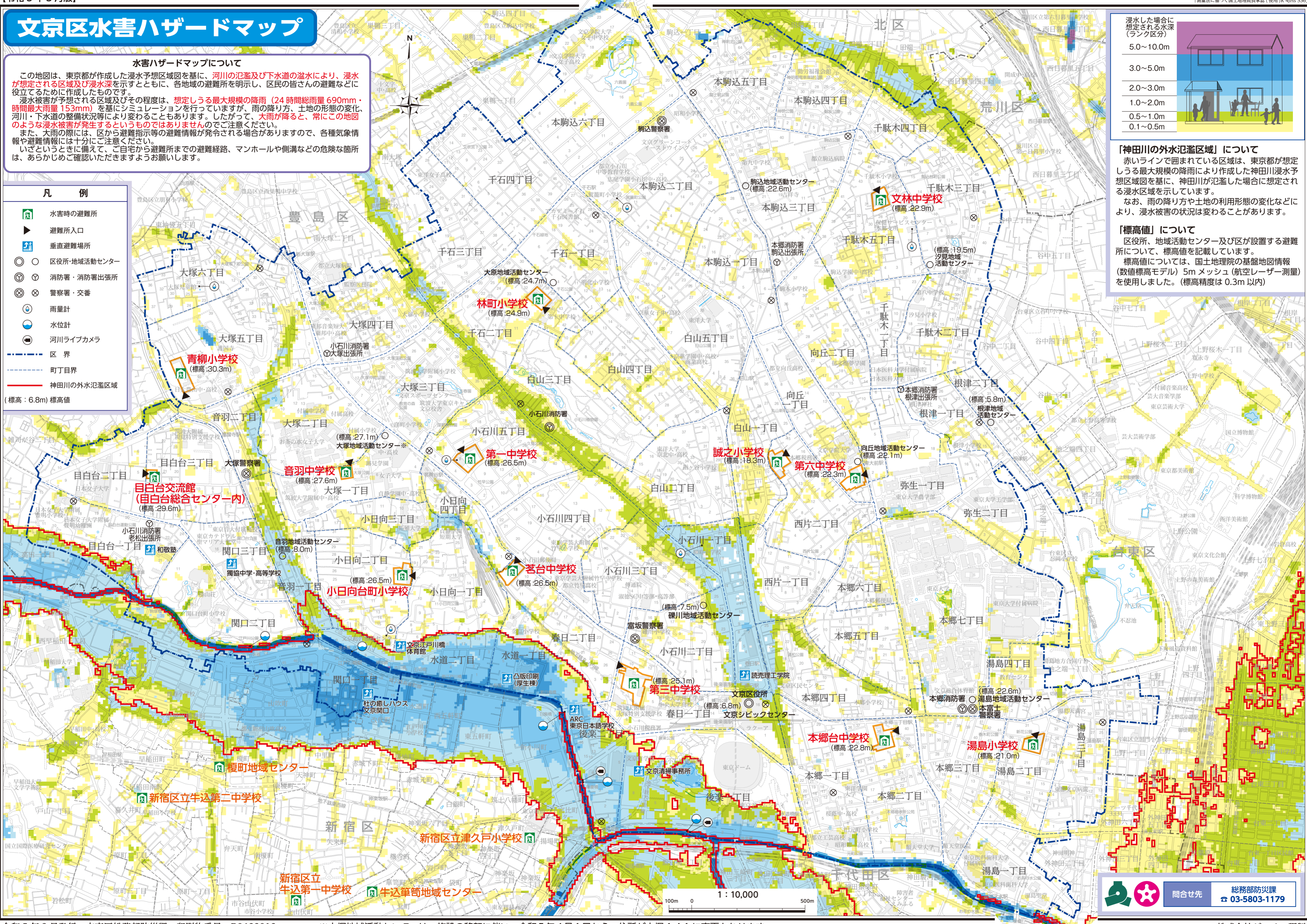
赤いラインで囲まれている区域は、東京都が想定しうる最大規模の降雨により作成した神田川浸水予想区域図を基に、神田川が氾濫した場合に想定される浸水区域を示しています。

なお、雨の降り方や土地の利用形態の変化などにより、浸水被害の状況は変わることがあります。

**「標高値」について**

区役所、地域活動センター及びびが設置する避難所について、標高値を記載しています。

標高値については、国土地理院の基盤地図情報(数値標高モデル)5mメッシュ(航空レーザー測量)を使用しました。(標高精度は0.3m以内)



問合せ先 総務部防災課 03-5803-1179